

Innovation and energy driving forward a strong chemical company



強いケミカル・カンパニーに向けた 変革と実行

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を
賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社の第94期中間事業報告書をお届けしますので、
ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長 田中 健一

株主通信

第94期 中間事業報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

[証券コード 4028]

ISK 石原産業株式会社



事業のグローバル展開で、 持続的成長と 安定的収益確保を めざします

このような状況の下、当社グループは第6次中期経営計画の基本方針に基づき、海外販売の強化や高付加価値製品の拡販など既存事業の強化と、将来の成長基盤の構築に向けた研究開発などを着実に取り進めてまいりました。しかしながら、為替円高の進行に伴う海外事業への影響は避けがたく、当上半期の売上高は前年同期比16億円減の512億円、営業利益は前年同期比16億円減の18億円、経常利益は為替差損が拡大するなどにより前年同期比23億円減の3百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億円（前年同期は15億円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

Q.1

第94期上半期の経営環境について
お聞かせください。

欧米での景気は上向くものの、中国経済が減速、日本経済は為替円高もあり厳しい状況

当上半期（平成28年4月1日から平成28年9月30日）における世界経済は、米国では企業業績の改善と堅調な個人消費を背景に景気の穏やかな拡大基調が続き、欧州でも緩やかに回復しました。一方、アジアでは、中国経済の減速などで力強さを欠く展開が続きました。日本経済は、雇用環境の改善が見られましたが、円高などにより企業業績が振るわず、停滞感が強まりました。

Q.2

第94期上半期のセグメント別の状況と
業績について伺います。

酸化チタンの海外販売環境は改善に向かう一方で、農薬の海外需要は引き続き低調に推移

当社グループの主力事業を取り巻く市場環境は、酸化チタンでは、国内需要は主力用途である塗料の需要不振の影響を受けたものの、底堅さを維持し前年同期並みとなりました。海外では、中国を中心とした供給過多な需給環境は徐々に改善し、市況の一定の回復が見られました。農薬では、農業大国ブラジルでの不安定な経済状態と高い流通在庫の水準に加え、世界各地で発生した異常気象などが需要を抑制し、世界の農薬出荷額は引き続き低調に推移しました。

Q.3

第94期通期の見通しは
いかがですか？

上半期実績ならびに下半期の各事業の市場動向、
為替見通しを踏まえ減収減益の見通し

通期の業績見通しにつきましては、下半期以降の為替レートを米ドル100円、ユーロ110円と想定して、売上高は990億円、営業利益は45億円、経常利益は25億円、親会社株主に帰属する当期純利益は13億円を見込んでおります。

0.4

今後の取組みについて お聞かせください。

無機化学事業は高付加価値品の拡販 有機化学事業は農薬の海外展開加速

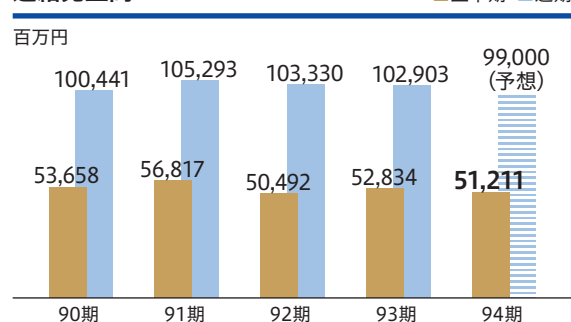
無機化学事業につきましては、高付加価値品に軸足を置いた開発・販売に取り組んでおります。酸化チタンでは、国内の超耐候性銘柄の販売が順調に伸びており、海外での需要開拓に向けた取り組みを強化しております。機能材料では、電子部品向けや導電材料が好調で、さらなる技術開発を進めるとともに安定的な供給体制の構築を図ってまいります。

有機化学事業につきましては、農薬の販売地域拡大に向けて取り組んでおります。世界的な人口増加と農産物需要の拡大により中長期的には農薬需要の大きな伸びが見込まれます。伸び行く需要を確実に取り込むためには、販売地域拡大が重要と考え、これに向けた取り組みに力を入れております。特に、力を入れている地域は、アジア、北米で、新規剤を投入する他、既存剤のシェア向上を図っております。

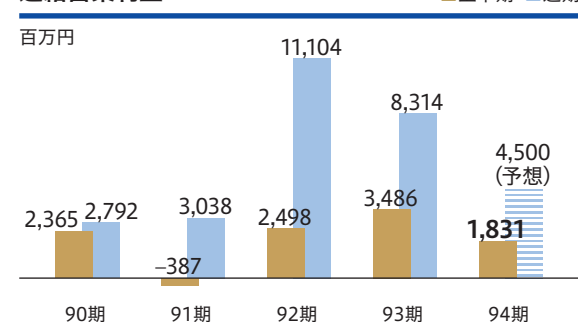
将来の成長基盤作りとして、動物薬やバイオ医薬品などの研究開発に取り組んでおります。動物薬の開発では、今年5月に国内承認申請を行い、海外開発にも着手してまいります。新規バイオ抗がん剤として開発中のHVJ-Eは、大阪大学と連携し、前立腺がん、メラノーマ及び中皮腫の3がん種を対象に医師主導の臨床試験を実施しております。人工関節固定用骨セメントは今年9月に国内薬事承認を取得しました。

財務ハイライト

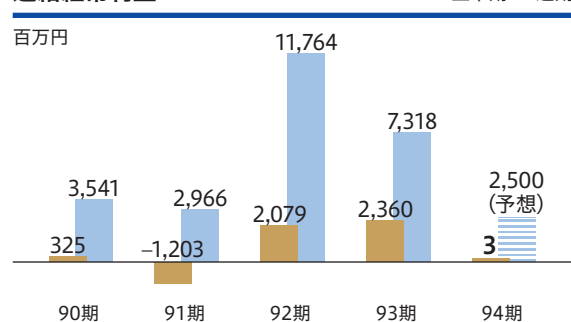
連結売上高



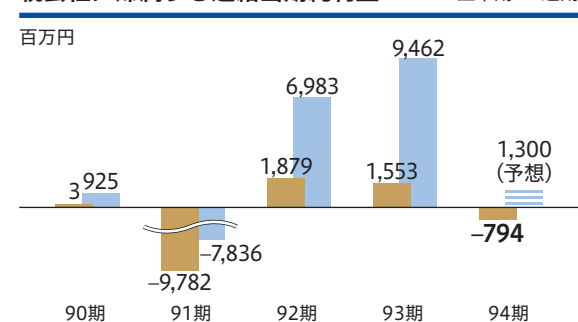
連結営業利益



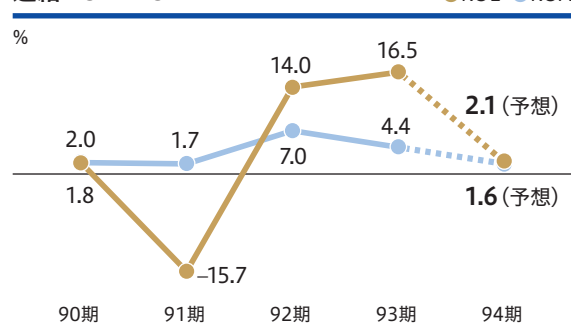
連結経常利益



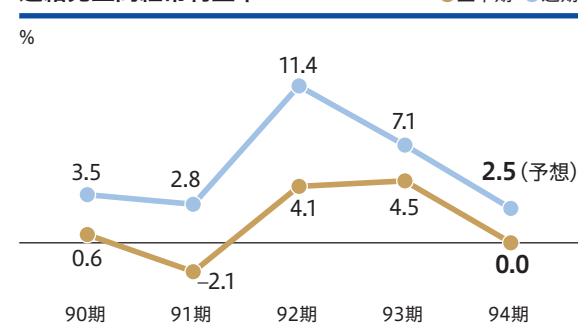
親会社に帰属する連結当期純利益



連結ROE・ROA



連結売上高経常利益率



(通期の業績予想の前提としている94期第3四半期以降の主要通貨の為替レートは、100円/米ドル、110円/ユーロと想定しています。)

※百万円未満を切り捨てて表示しています。

国内トップシェアの酸化チタンは高付加価値品を海外で展開

無機化学事業

上半期 売上高 **228億円** (△27億円) 営業利益 **15億円** (△12億円)

44.7%

セグメント
売上構成

512

【酸化チタン】

- 売上高は176億円（前年同期比16億円減）
- 販売数量は、ほぼ前年同期並みを維持
- 海外市況の下落と円高による輸出価格低下の影響を受け減収



【機能材料】

- 売上高は52億円（前年同期比10億円減）
- 導電性材料や電子部品向けなど各種製品の販売は総じて堅調
- 新製品は、初期需要の一巡により販売減



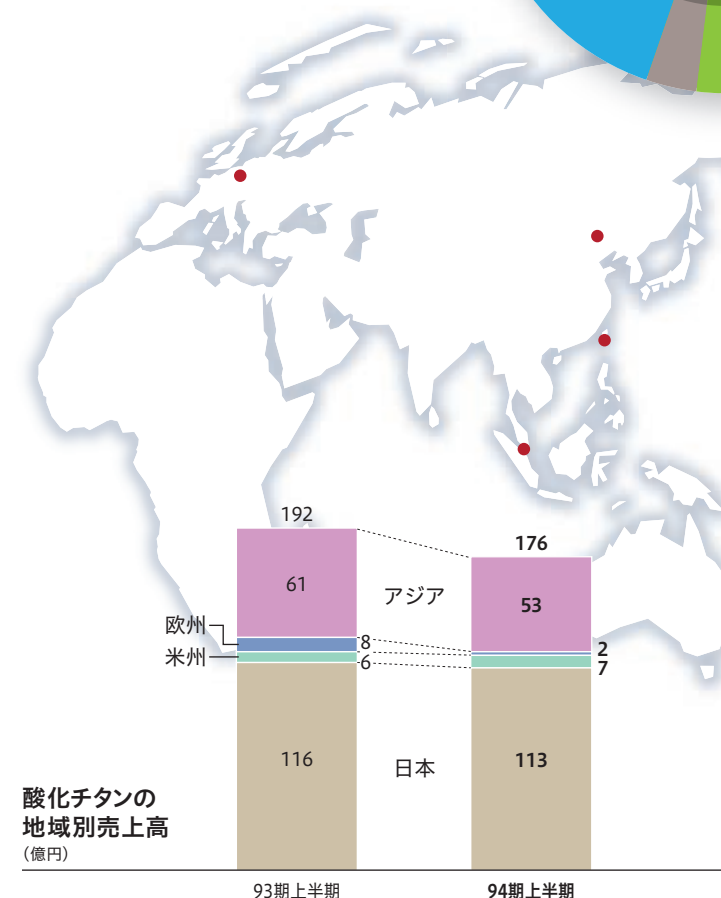
今後の取組み

酸化チタン

- 高付加価値銘柄は国内で順調に販売を伸ばす
- 海外での拡販に向け積極的に展開

機能材料

- 電子材料、導電材料用途に注力



ント別
成比率
億円

52.2%

上半期 売上高**267**億円(+11億円) 営業利益**9**億円(△4億円)

有機化学事業

世界トップクラスの技術開発力で世界の農産物の安定供給を支える

【農 薬】

- 売上高は266億円(前年同期比11億円増)
- 国内向けは、新規混合剤投入などで増収
- 欧州向けは、殺菌剤、殺虫剤が増収
- 北米向けは、新規殺菌剤の登録国追加や、既存剤の適用拡大などで増収
- アジア向けは、天候の影響を受け除草剤など減収



今後の取組み

農 薬

- 販売地域拡大に向け海外での事業展開強化
- 新規剤・新規混合剤の積極的な市場投入

医 薬

- 新規バイオ抗がん剤として開発中のHVJ-Eは、大阪大学と連携し、前立腺がん、メラノーマ及び中皮腫の3がん種を対象に医師主導の臨床試験を実施中

TOPICS

日本・ベルギー 150周年記念行事へ参加

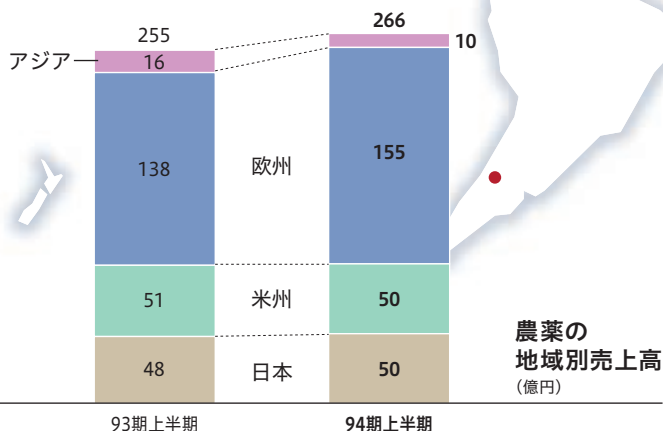
当社は、欧州の農業事業を統括する拠点としてベルギーにISK Biosciences Europe N.V.を置くほか、Belchim Crop Protection(持分法適用関連会社)と販売提携するなどベルギー国とは大変深い関係にあります。

平成28年は日本とベルギーが外交関係を樹立してから150周年にあたり、ベルギー王国フィリップ国王夫妻が来日され、両国間の多数の記念イベントが行われました。10月11日に当社はベルギー王国フィリップ国王夫妻との特別謁見及び晩餐会に招待され、田中社長が出席いたしました。

また、翌日にはホテルニューオータニ東京において、フィリップ国王陛下ご臨席のもと、両国の主要な企業・研究機関が各種の契約書に署名する記念式典が開催されました。当社からは田中社長が出席し、新農薬の評価に関する契約書に署名いたしました。



特別謁見でフィリップ国王陛下に拝謁する田中社長



※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	93期 平成28年3月31日 現在	94期上半期 平成28年9月30日 現在
(資産の部)		
流動資産	110,483	104,308
現金及び預金	29,398	29,297
受取手形及び売掛金	25,225	27,463
たな卸資産	53,070	44,814
その他	2,789	2,732
固定資産	54,567	53,917
有形固定資産	38,733	37,562
無形固定資産	223	200
投資その他	15,610	16,155
① 資産合計	165,050	158,226

①総資産
受取手形及び売掛金が増加しましたが、たな卸資産が減少したことなどにより前期末比6,824百万円減少して158,226百万円となりました。

科目	93期 平成28年3月31日 現在	94期上半期 平成28年9月30日 現在
(負債の部)		
流動負債	49,725	52,596
支払手形及び買掛金	10,341	13,453
短期借入金等	28,230	29,117
その他	11,152	10,025
固定負債	53,727	46,413
社債及び長期借入金	35,727	28,552
退職給付に係る負債	12,957	12,739
その他	5,042	5,121
② 負債合計	103,453	99,009
(純資産の部)		
株主資本	63,407	62,611
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,626	10,626
利益剰余金	10,062	9,268
自己株式	△ 702	△ 703
その他の包括利益累計額合計	△ 1,809	△ 3,395
③ 純資産合計	61,597	59,216
負債純資産合計	165,050	158,226

②負債
支払手形及び買掛金が増加しましたが、長期借入金が増加したことなどにより前期末比4,443百万円減少して99,009百万円となりました。

③純資産
四半期純損失794百万円を計上したこと、為替換算調整勘定が減少したことなどにより前期末比2,381百万円減少し、59,216百万円となりました。

※ 百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	93期上半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	94期上半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
④ 売上高	52,834	51,211
売上原価	38,216	38,818
売上総利益	14,617	12,392
販売費及び一般管理費	11,131	10,560
⑤ 営業利益	3,486	1,831
営業外収益	377	275
営業外費用	1,503	2,104
経常利益	2,360	3
特別利益	—	—
特別損失	250	405
税金等調整前四半期純利益又は純損失(△)	2,109	△ 401
法人税等	556	392
四半期純利益又は純損失(△)	1,553	△ 794
⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失(△)	1,553	△ 794

④売上高
無機化学事業では、酸化チタンが海外市況の下落と円高による輸出価格低下の影響を受けて減収となったほか、機能材料も電子部品向けなど主力製品の販売は総じて堅調であったものの、前年同期に貢献した新製品の販売が初期需要一巡により無くなったことなどから減収となり、全体で大幅に前年同期を下回りました。有機化学事業では、農薬の国内販売が新規混合剤の投入などにより前年同期を上回るとともに、為替円高の影響を大きく受けた海外でも、天候要因などにより欧州での殺菌剤、殺虫剤の販売が伸張したことなどから、前年同期を上回りました。これらの結果、前年同期比1,623百万円の減収となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	93期上半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	94期上半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日
⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー	12,004	9,702
⑧ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 790	△ 2,748
⑨ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,301	△ 6,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	△ 423
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,976	△ 101
現金及び現金同等物の期首残高	21,281	29,208
⑩ 現金及び現金同等物の期末残高	23,257	29,107

⑤営業利益
円高の影響や無機化学事業における減収に伴う減益などにより、前年同期比1,654百万円の減益となりました。

⑥親会社株主に帰属する四半期純利益
営業利益段階での減益に加え、円高による為替差損失が悪化したことなどにより前年同期比2,347百万円の減益となりました。

⑦営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期純損失401百万円となりましたが、たな卸資産の減少、仕入債務の増加などにより9,702百万円の収入(前年同期比2,301百万円の収入減)となりました。

⑧投資活動によるキャッシュ・フロー
固定資産や投資有価証券の取得などにより、2,748百万円の支出(前年同期比1,958百万円の支出増)となりました。

⑨財務活動によるキャッシュ・フロー
借入金の返済などにより、6,631百万円の支出(前年同期比2,670百万円の支出減)となりました。

⑩現金及び現金同等物
現金及び現金同等物は前期末より101百万円減少し、29,107百万円となりました。

会社概要

— 石原産業グループ基本理念 —

- 「社会」、「生命」、「環境」に貢献する。
- 株主・顧客・取引先・地域社会・従業員を大切にすること。
- 遵法精神を重んじ、透明な経営を行う。

会社概要

(平成28年9月30日現在)

商 号 石原産業株式会社
英 文 商 号 ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD.
本 社 〒550-0002
大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
TEL:06-6444-1451(総務部)
設 立 昭和24年6月1日
資 本 金 43,420,548,178円
従 業 員 数 1,093名
事 業 所 大阪本社、中央研究所、四日市工場、東京支店、中部支店、札幌営業所、仙台営業所、福岡営業所、アルゼンチン支店、シンガポール支店、北京駐在員事務所

役 員

(平成28年9月30日現在)

代表取締役社長 田中 健一
取 締 役 寺川 佳成
取 締 役 新 道義
取 締 役 本多 千元
取 締 役 鈴木 良之
取 締 役 米村 紀幸(社外取締役)
取 締 役 寺西 大三郎(社外取締役)
常 勤 監 査 役 加藤 泰三
常 勤 監 査 役 秋國 仁孝(社外監査役)
監 査 役 播磨 政明(社外監査役)

主なグループ会社

(平成28年9月30日現在)

連結子会社(海外)

- ベルギー ●ISK BIOSCIENCES EUROPE N.V.
欧州農業事業統括及び農薬の製剤・販売
- 台 湾 ●台湾石原産業股份有限公司
無機製品の販売
- ア メ リ カ ●ISK AMERICAS INCORPORATED (オハイオ)
米国所在子会社の統括管理
- ISK BIOSCIENCES CORPORATION (オハイオ)
米州における農薬の登録及び市場開発
- ISK MAGNETICS, INC. (オハイオ)
資産管理
- ISK BIOCIDES, INC. (テネシー)
木材防腐剤の製造及び販売
- ISHIHARA CORPORATION (U.S.A) (カリフォルニア)
主として無機製品の販売

連結子会社(国内)

- 石原バイオサイエンス株式会社
農薬の販売
- 石原テクノ株式会社
商社業(無機、有機及びその他)
- 富士チタン工業株式会社
酸化チタン、電子材料等の製造及び販売
- 石原エンジニアリングパートナーズ株式会社
建設業
- 四日市エネルギーサービス株式会社
産業用電力及び蒸気の生産、供給、販売

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報等、株主のみなさまに有益な情報を多数発信しておりますのでごらんください。

トップページ



IR情報



<http://www.iskweb.co.jp>

石原産業

検索

株式情報

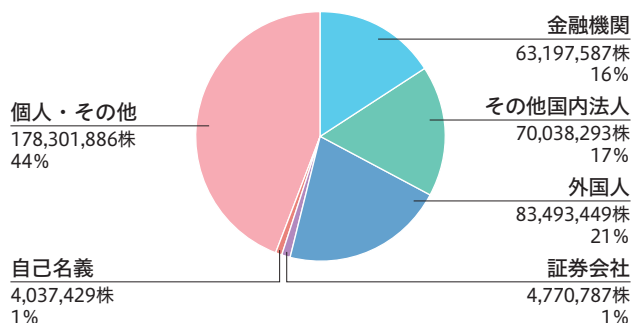
株式の状況

(平成28年9月30日現在)

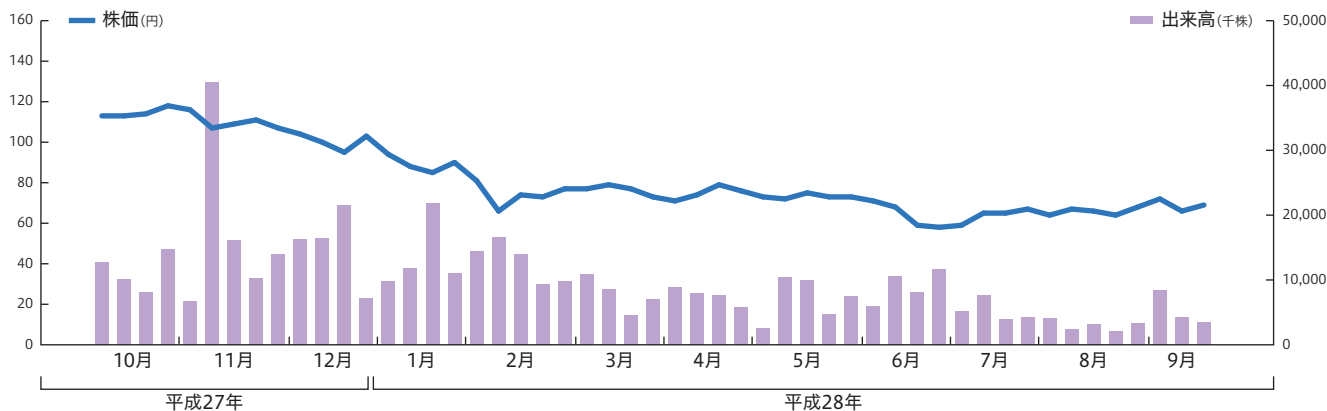
発行可能株式総数 10億株
発行済株式の総数 403,839,431株
株主数 36,871名

株式所有者別分布状況

(平成28年9月30日現在)



株価と出来高の推移



大株主

(平成28年9月30日現在)

株主名	株式数(千株)
三井物産株式会社	20,192
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES PARIS/JASDEC/FBB SEC/BELCHIM MANAGEMENT	18,000
東亜合成株式会社	17,222
ユーピーエルジャパン株式会社	11,700
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,737
ISK交友会	8,361
石原産業従業員持株会	7,928
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,753
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	7,316
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	7,064

(注)株式数は株主名簿上の数で千株未満を切り捨てて記載しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会・期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
単元株式数 100株
公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
当社ホームページアドレス
<http://www.iskweb.co.jp>
株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

単元未満株式(100株未満の株式)について

当社の株式は1単元が100株となっています。株主様がご所有の単元未満株式(100株未満)につきましては、市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。もし、そのような単元未満株式をお持ちでしたら、買増制度、買取制度をご利用ください。